報道関係者各位

PRESS RELEASE

2022 年 8 月 5 日

a/political

一般市民の戦争による深い苦痛を表現したインスタレーション作品「長崎平和集会」を発表

8 月 9 日の 1 日限りの展示を長崎県美術館 2 階コンサートホールで開催





長崎県に原子爆弾が投下された 8 月 9 日（火）の犠牲者慰霊に合わせ、イギリスのアートレーベル a/political に所属するロシア人アーティスト・アンドレイ・モロドキン (Andrei Molodkin) と日本人音楽家・坂本真 (Makoto Sakamoto)と坂本豊(Yutaka Sakamoto) は、長崎県美術館にてアート作品「アトミック・メッセージ (Atomic Message): 長崎平和集会」を披露し、77 年前、原子爆弾によって壊滅的な打撃を受けた国土と国民に追悼の意を捧げます。8 時間におよぶ映像と音響が織りなすインスタレーション「長崎平和集会」は、罪のない一般市民が戦争によって味わう深い苦痛を表現したコミュニティ・アートプロジェクトです。

イベント詳細

会場: 長崎県美術館 2 階コンサートホール　〒850-0862 長崎市出島町 2-1

日付: 2022 年 8 月 9 日

時間: 13:00 から 21:00

「長崎平和集会」インスタレーション: アンドレイ・モロドキン

サウンド: 坂本真、坂本豊

入場料: 無料

*1日限りのイベントです。

モロドキンと坂本は、長崎と広島の悲劇に関して、当時のソビエト連邦に対するアメリカの「力の誇示」が、その背景の一部に存在したと考えています。アメリカ大統領ハリー・S・トルーマンは「これは歴史上最も偉大な組織的科学の成果である」という有名な言葉を自ら残しています。二人にとってこの言葉は、アメリカという国の国力と能力の誇示を意図し、原爆投下を重要な科学的成果と位置付けていたこと、また同時に罪のない日本の一般市民に何世代にも渡る傷痕を残す可能性があったにも関わらず、それを無視したことを物語っているのです。この言葉には、政治的なシナリオに沿った恐怖が盛り込まれていると考えています。

今回、長崎で生まれ育った坂本とその家族は、西欧民主主義のシンボルであるアメリカのホワイトハウスをテーマにしたモロドキンの作品に協力し、実際に自分たちの血液を提供しました。原爆投下から 2 世代を経た彼らの血は、まさに「放射能の血統」を受け継ぎ、手遅れになる前に核の使用を阻止すべく、世界に対して警告を鳴らし続けています。被爆の影響は長期に渡り、世代を超えて受け継がれた放射能は、先天性異常、がん、他の健康問題を引き起こし続けているとも言われています。

坂本真のコメント:

「私の祖父は 13 歳で被爆し、地獄のような風景の中を 50 キロも歩いたそうです。体が小さかったのが幸いし、多くの子供は助かったそうです。そして両親は爆風で倒れ死んでしまったため、子供たちは置き去りにされてしまったのです」。

アンドレイ・モロドキンのコメント:

「長崎と広島の原爆は、当時のアメリカからソビエト連邦への警告でした。何十万人もの罪のない一般市民を殺戮した政治家たち同士が交わす原子爆弾のメッセージ。今回のアート作品は、あらゆる戦争で犠牲となった人々を忘れないでほしい、そうした世界のリーダーたちに向けたメッセージなのです」。

<u>アーティストの紹介</u>:

坂本真（写真左）



長崎県出身。インダストリアル、ドローン、アンビエント、ライブサウンドなど、様々なサウンドスケープを試みるノイズミュージシャン。デトロイトスタイルのテクノユニット、Sub Human Bros のメンバーとして 10 年間活動した後、ベルリンに移住しソロプロジェクトを開始。以降、坂本は前衛的な文化人たちとのコラボレーションと並行して、レコード盤、デジタル EP、カセットを着実にリリースしてきました。2021 年、坂本はフランスの先鋭的なアートスペースである「The Foundry」に滞在し、ロンドンのセント・ジョンズ教会では、アンドレイ・モロドキンの作品「BLOODLINE」に合わせたライブサウンドスケープのパフォーマンスを披露し、その名をとどろかせました。

坂本　豊

ドイツ・ベルリンと佐賀県の2拠点で活動。シンセサイザーを用いたジャンルにとらわれない音楽とサウンドスケープを制作するテクノユニット Sub Human Bros のメンバー。兄である坂本真と同様に、世界で活躍するサウンドクリエイター。

アンドレイ・モロドキン（写真右）

人間の血液、原油、鉄、ボールペンを使った作品で国際的に高い評価を受けているアーティスト。2009 年ベネチアビエンナーレから 2021 年のワシントン D.C.の展示に至るまで、モロドキンのプロジェクトは常に検閲の対象となってきました。彼の大規模インスタレーション「Liquid Modernity」は、2012 年にイギリスの現代美術館テート・モダンのコレクションに追加。2019 年には、Skengdo & AM、Drillminister といったドリルラッパーとコラボレーションし、表現の自由のために戦う曲「Political Drills」を発表しました。特にロシアのウクライナ侵攻以来、モロドキンの「ウクライナ人の血で満たされたプーチン (Putin Filled with Ukrainian Blood)」は、反プーチン作品としてモスクワに密輸され、戦勝記念日のパレード中に赤の広場で公表され大反響を呼びました。また 2014 年から、フランスのモブルゲにあるアート施設「The Foundry」とコテレに位置する「ラ・ライエール (La Raillère)」の再構築にも携わっています。

a/political レーベル

a/political はカルチュラル・テラー（文化的恐怖）の原理を通じて、ラディカルな知を探求しているレーベルです。アーティストや煽動者と協力し、大規模なプロジェクトをプロデュース、現代社会における支配的な物の見方に挑戦を試みています。また過去にはドリルラッパーの Skengdo & AM や Drillminister とコラボレーションし、「Political Drills (The Media)」という曲を発表。イギリス政府の手で弾圧されている黒人の遺産を、音楽の形で自由表現する活動を擁護しました。この前例に基づき a/political は、メインストリームレーベルに適さない作品を手がけるミュージシャンとのコラボレーションの場として、新レーベルを立ち上げたのです。

＜本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ＞

プロジェクト広報事務局（共同 PR 内） MAIL：apolitical-pr@kyodo-pr.co.jp

＜アーティスト本人への取材・インタビュー依頼＞

Ari Matsuoka (MOLS magazine)

MAIL：molsmagazine@gmail.com　電話：+49 178 7873084

LINE ID: u_cheakey